

## 令和6年第2回大野城市議会3月定例会一般質問通告

○本会議（3日目）一般質問

令和6年3月18日（月） 午前9時30分 （於 議 場）

議員氏名	件 名
森 和也	<p>1. 人口問題と子育て支援について</p> <p>(1) 昨年の4月1日から開始された産後ケア事業の概要とこれまでの利用者数を教えていただきたい</p> <p>(2) 「全戸訪問事業」の概要・状況などを教えていただきたい</p> <p>(3) 令和5年12月議会での一般質問の回答で、「健やかな成長を見守る相談支援体制を推進するため、支援が必要な子育て世帯への家事・育児支援を行い、保護者の育児負担の軽減を図ります。」とあるが、具体的にどのようなことをするのか</p> <p>(4) 令和5年12月議会での一般質問の回答で、「青年期を対象とした取組としては、保護者が保育所等に子どもを安心して預け仕事を続けていくことができる環境づくりに取り組んでまいります。」とあり、大野城市が今までに取り組んできた人口減少対策や少子化対策について「保育所の拡充」が挙げられているが、現在の本市の保育定員は何人くらいか。また、待機児童の状況はどうか</p> <p>(5) 「大野城市保育士家賃助成事業補助金」の概要と、この制度のこれまでの利用者数を教えていただきたい</p> <p>(6) 本市におけるひとり親家庭への支援は、どのような事業があるか</p> <p>(7) 「子育て世帯生活支援特別給付金」について、教えていただきたい</p> <p>(8) 平成30年12月議会での少子化対策についての回答で、「母親教室」「すこやか育児相談」「公民館親子サロン」「中学校子育てサロン」「各種親子向け教室」等を示されたが、これらの事業は現在も継続されているか。また、平成30年12月以降、新規に始めた少子化対策事業があれば、教えていただきたい</p> <p>(9) 近隣の春日市は、18歳以下の医療費を無償化するようだが、本市はどのようにお考えか</p> <p>(10) 福岡県内においても幾つかの自治体において出会いサポート事業が実施されている。また、東京都は、人工知能（AI）を使ったマッチングアプリを2024年度から提供すると報道があったが、本市は婚活支援について、どのようにお考えか</p> <p>(11) 平成30年12月議会での一般質問の回答で、「一般社団法人大野城市にぎわいづくり協議会が主催している「おおのじょうまちなかわくわくパビリオン」の中で、婚活に関するイベントがこれまで合計12回開催されている。」とあったが、その後も婚活に関するイベントは開催されているのか。また、成婚に至った数字がわかれば、教えていただきたい</p> <p>(12) 令和5年12月議会での一般質問の回答で、「情報発信の強化や、シティプロモーションを推進し、本市への人の流れをつくる取組も進めます。」とあるが、移住・定住促進のための具体的な事業計画があれば教えていただきたい</p>
岡部 かおり	<p>1. 未来を担う中学生のキャリア教育について</p> <p>(1) 本市のキャリア教育の目的と現状を教育長に伺う</p> <p>(2) 現在職場体験を受け入れている企業の業種を伺う</p>

	<p>(3) 中学生の職場体験をする際は、どのような流れで行われているか伺う</p> <p>(4) 受け入れる職場はどのようにして決めているか伺う</p> <p>(5) キャリア教育として「キッザニア福岡」を利用したことがある市内中学校はあるか伺う</p> <p>(6) 施設に行き、実践した子どもたちの感想を伺う</p> <p>(7) 他の中学校にも利用を広げてはと考えるが、案内や周知は市としてどのように考えるか伺う</p> <p>(8) 施設利用の費用はいくらぐらいか、また、だれが負担したのか伺う</p> <p>(9) 夢を育む為、作業内容を知るだけではなく、働くことの意義や役割に理解を示すためにも、いろいろな職場を体験することは有効である。一か所で様々な職場を体験できる民間の施設があるので、多くの子どもたちに経験してほしいと考える。キャリア教育の前段として校外学習で利用できないか伺う</p>
中村 真一	<p>1. 福岡空港滑走路増設について</p> <p>(1) 滑走路増設による問題について</p> <p>(2) 運行計画の概要について</p> <p>(3) 市民の不安解消について</p> <p>(4) 増便による騒音等に関する地元対策について</p>
河野 敏生	<p>1. 大野城市の防災・減災への取り組みについて</p> <p>(1) 大野城市の「防災・減災への取り組み」について</p> <p>(2) 災害時の避難場所の炊き出し等の施設について</p> <p>2. ハンドボールの自主練習場所について</p> <p>(1) 各コミュニティセンターでのハンドボール使用について</p> <p>3. 教職員不足問題について</p> <p>(1) 大野城市の公立小中学校の教職員足りない問題について</p> <p>(2) 教職員不足を解決するための教職員の働き方改革の1つである標準授業時数について</p>
中村 慎一郎	<p>1. 公共交通システムの見直しについて</p> <p>(1) 筑紫地区5市における公共交通担当者会議の進展について</p> <p>(2) コミュニティバスまどか号の今後の見直しについて</p> <p>(3) デマンドバスの導入あるいはライドシェア事業の実証実験への参画について</p> <p>2. シルバー人材センター利活用について</p> <p>(1) シルバー人材センターの現状について</p> <p>(2) 公園の管理状況について</p> <p>(3) 通学路における交通安全等の見守りについて</p> <p>(4) 社会実験として、公園管理や交通安全等の見守りの委託先にシルバー人材センターを活用できないか</p> <p>3. 中学校給食について</p> <p>(1) 本市同様の選択制自治体の喫食率と差異について</p> <p>(2) 選択制給食の喫食数の目標数値と今後の見通しについて</p> <p>(3) 「中学校ランチ給食サービス」の利用促進月間の試験導入について</p>
永利 恭子	<p>1. 重要施設周辺及び国境離島等における土地等の利用状況の調査及び利用の規制等に関する法律（重要土地等調査法）の対応について</p> <p>(1) 1月15日付市報のお知らせコーナーにあった「重要土地等調査法」正式名称「重要施設周辺及び国境離島等における土地等の利用状況の調査及び利用の規制等に関する法律」をどのようなものと捉えているか</p> <p>(2) 本市は「重要土地等調査法」とどのように関係するのか。そして、本</p>

	<p>市の果たす役割はどのようなものか</p> <p>(3) 本市で注視地区に指定されているのはどこか</p> <p>(4) 土地等とは土地及び建物であり、土地建物の利用者に賃借人も含まれ、注視地区の住民のほとんどが調査の対象になり得ることを理解しているか。またこのことを市民にきちんと知らせる必要は無いのか</p> <p>(5) 「重要土地等調査法」は、重要施設の「施設機能を阻害する」行為他、内容の多くが政令にゆだねられているなどあいまいな部分が多い。市民のプライバシー権、思想・良心の自由、表現の自由、および財産権等の基本的人権を侵害されるおそれがあると反対する意見があるにもかかわらず国会での議論が充分に行われず短期間で成立したことを知っているか</p> <p>(6) 土地建物売買の際の「重要事項説明書」に「重要土地等調査法」も追加されることから不動産価格が下がる恐れがあるのではないかと心配する声もある。不動産価格に影響する心配はないか</p> <p>(7) 「重要土地等調査法」の7条によると、地方公共団体の長は住民の氏名や住所だけでなくその他政令で定める情報を国に提供する立場にある。同時に3条には、当該法律の実施に当たって、個人情報保護に十分配慮しつつ必要最小限度のものとなるようにしなければならないとしている。本市は国から情報提供を求められた場合市民の人権を守るため今後どのようなことに留意して対応するか</p> <p>2. 栄養面から見た中学生の昼食の問題点</p> <p>(1) 中学校の全員制給食を求め、栄養面から質問する。令和2年に行われた学校給食摂取基準策定のための有識者による調査研究によると、給食がある日とない日で栄養面に差があり、学校給食のない日は栄養摂取の不適合率が高い。このことについてどう考えるか</p> <p>(2) 本市におけるランチ給食と持参弁当及びパンの栄養について比較したことがあるか</p> <p>(3) パンは脂質だけ多く全体的に栄養が不足しており特にビタミンCと鉄がかなり不足している。持参弁当もパンほどではないが同様である。成長期の子どもの食事として問題ではないか</p> <p>(4) 本市の5割以上の中学生が十分な栄養の昼食をとっていないことをどう考えるか。現在の選択制は、多様な選択肢が用意されているという理由で済まされる問題ではないのではないのか</p> <p>(5) 栄養の偏りや不足は生活習慣病だけではなく、脳機能にも影響する。ビタミンやミネラル不足、糖質や脂質の摂り過ぎにより発達障害の症状が悪化したり、発達障害と似た行動を示すことがあることを知っているか</p> <p>(6) 近年発達障害や発達障害と疑われる子どもが増えていることから、ビタミンやミネラル不足を補う栄養ある給食を中学生全員に提供することを検討すべきではないか</p> <p>3. 職員の育成について</p> <p>(1) 昨年12月に総務省から「人材育成・確保基本方針策定指針」が出された。本市の人材育成方針を改定する予定はあるか</p> <p>(2) 12月議会で自衛隊での研修は規律、挨拶、時間を守る規律訓練だとの回答であったが、採用時点で市職員にはもっと高度な心構えが求められているのではないのか</p>
原田 真光	<p>1. まなびのやど福岡（福岡自治研修センター）について</p> <p>(1) 本市乙金にある福岡自治研修センターは県及び市町村職員の研修等に</p>

	<p>使用されてきたが、令和5年7月1日から「まなびのやど福岡」に愛称が変更され一般開放された。本市における「まなびのやど福岡」の位置づけを伺う</p> <p>(2) 御笠川6丁目交差点から大城4丁目交差点の区間は片側2車線だが大城4丁目交差点以降は片側1車線である。御笠川6丁目交差点方面から大城4丁目交差点を直進する場合は左車線を進行する必要があるが、交差点の直前まで標示がない。道路標示や標識等の整備が必要だと考えるがいかがか</p> <p>(3) 利用者が「まなびのやど福岡」へ安全かつ効率的に到着するためのサイン（案内板）整備が必要だと考えるがいかがか</p> <p>(4) 「まなびのやど福岡」の利用者は県内だけではなく県外からも訪れている。利用者に大野城市の名産品やお土産等を広く知っていただくための絶好の機会である。商工会と連携をしてキッチンカーの様な移動式の販売車やブースの設置等を検討してはいかがか</p>
--	---

○本会議（4日目）一般質問

令和6年3月19日（火） 午前9時30分（於 議 場）

議員氏名	件 名
井福 大昌	<p>1. 災害時・緊急時の備えと福祉を</p> <p>(1) 全国の災害地で活動している災害ボランティア団体「日本九援隊（本拠大野城市）」の活動報告によると災害地では様々な問題が発生しているとのことです。そこで、平均活動間隔3100年～5500年で推定マグニチュード7.2が発生し、最新活動年は約4000年前であると評価されている警固断層帯のそばに在する本市として、将来的に地震が起きたと仮定した場合、現在、市民と市民の財産を守る施策はどのようなものがありますか</p> <p>(2) 備蓄に関して</p> <p>(3) 緊急時の法整備・条例に関して</p> <p>(4) 避難所のトイレに関して</p> <p>(5) 身体に1番重要な水に関して、給水車が急行できない恐れがある地域へのRO浄水機やウォーターサーバーなどの備えのお考えはありますか</p> <p>(6) 被災者の精神保護とペット保護の観点に関して</p>
神田 徳良	<p>1. 自然災害（地震）への備えについて</p> <p>(1) 想定される地震被害について</p> <p>(2) 指定避難所について</p>
大塚 みどり	<p>1. 熱中症について</p> <p>(1) 熱中症対策について</p> <p>(2) 小中学校の熱中症対策について</p> <p>2. 教科担任制度について</p> <p>(1) 小学校での教科担任制度導入について</p> <p>小学校では、1人の先生が全教科を受け持つ「学級担任制」であるが、文部科学省は令和4年度から小学校高学年について、1人の先生が特定の教科を担当し複数のクラスを教える「教科担任制」の導入を決定した。</p> <p>そこで、本市の現況や実施方法について伺う</p>